

# 中村信彦市議会レポート

## 第71号



非核平和行進に参加

新年明けましておめでとうございませぬ。  
今年も甲午 きのえうまの年です。午は陰陽の陽の  
極地。太陽が最も高く上がった状態を示すので、お昼の  
十二時を「正午」と呼びます。勢いが盛んなので、十二  
支の動物では馬のイメージを当てはめたとも言われて  
います。

茨木市議会議員

中村 信彦

## 六月市議会報告

六月定例市議会が六月六日から十八日まで開かれました。市長から提案された九件の議案を審議し可決しました。また議員提案の慰安婦に関する発言の決議は否決されました。

## 市民開放施設の用地取得

本会議で提案されたのは駐車場条例を改正し、南茨木北自転車駐車場の三階部分に新設をするというもの。工事請負契約については下水道工事が三件。保健医療センターに設置している肺ガン検診用機器の更新。下井分署のはしご付消防自動車の更新。立命館大学市民開放施設用地の取得と立命館大学への土地無償貸し付けについてなどです。前段の本会議では立命館大学に関する質問が二人の議員からなされ、その後、一般質問(提案されている議案に対する質疑ではなく、広く市政全般について質問できる)

に十四人の議員が質問しました。民主みらい会派からは友次議員が代表して質問を行いました。内容は①学童保育について②職員の次世代育成行動計画について③地域担当職員制度について以上三項目について質問を行いました。

(紙面の関係上、各質疑内容については、茨木市議会ホームページの会議録や動画では是非ご覧ください)

慰安婦に関する発言に対する決議(案)否決される

十八日の最終本会議で、議員提案による橋下徹大阪市長の慰安婦に関する問題をただす内容の決議案が提案され民主みらいとして決議案に賛成すべきという討論を行いました。だが、自民党絆、維新の会みんなの茨木、公明党会派が決議案に反対をし否決されました。

## 民生委員児童委員推薦会開かれる

### 三年に一度の一斉改選

五月二十一日に民生委員推薦協議会が、中村も議会選出の推薦委員となり開催され、三年に一度の民生委員一斉改選されました。十四人で担当地域を分け、選について協議され、現在、数度にわたる民生委員児童委員の推薦していき、再任の方も多くおられますが、推薦が開かれています。現在民生委員児童委員の推薦は、主任児童委員が市内で四百人おられますが、人口増に伴い八名増員されます。この経験をこれからの市政に活かす。四人で内二名は議会から選出された委員としていきます。

## 大阪広域水道企業団議会の委員になりました

中村は七月からの任期で大阪広域水道企業団議会の議員になりました。

大阪広域水道企業団は、大阪府水道部より引き継いだ用水供給事業、工業用水道事業を平成23年4月から開始しています。この企業団は、地方自治法に基づき、複数の地方公共団体が、行政サービスなどの一部を共同で行うことを目的として設置する一部事務組合です。そのうち、地方公営企業の経営に関する事務を共同で行うものを「企業団」といいます。企業長などの執行機関のほか、議会を設置し、その運営を行います。

この問題については、大阪市が企業団と統合するかどうかが議論になっていましたが、橋下市長の提案に大阪市議会の同意が得られず「大阪市との統合協議はいったん中止する」こととなりました。